

第19回

次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺の まちづくり市民検討会 ～まちづくりWG～

令和4年6月26日



今回のまちづくりWGの進め方について

前回のまちづくりWGでは、「まちなかの動線を考える」をテーマに、まずは「駅南口から鹿沼公園・新たな施設への動線」を中心に検討し、その上で「駅周辺に必要な機能や空間」も検討し、最後に視野を広げて考えていくため、「デザインマップ」を作成しました。

今回のまちづくりWGでは、前回の振り返りとデザインマップにより描かれた「検討が必要な場所」を中心に、「どうしていきたいか」「どうやって取り組むか」などについて検討します。



①ワーク後の状態 (模造紙) → 新たなキーワードへの変換

利便性

- 全ての人が心地良く行き来できるまちづくり 13
- 北口と南口をつなぐ道路が必要など北口と南口のネットワークを強化する 15
- ソフト面で良いものを残して悪いものを更新していく、新しいニーズに合うようなこと 9
- 時代のニーズに合わせた変更が必要 10
- 各施設の利便性の向上を誰もが実感できる街づくりを考えたい 12
- 各施設の利便性の向上を実感できる街づくり 7

交通問題
自転車置き場の検討

コアのコンセプトが決まっていなくて何をどこに置くかというだけの議論になり、それはまちづくりではない

ここしばらくは北口にも公民館が必要な状態

次世代にひきつぐのは再整備×××再開発

経済的に豊かでも一部の者のためだったり騒々しいばかりで落ち着いて住めないまちはいやだ

「豊かさ」と「利便さ」とはちがう

図書館の建物は残したい

知らなかった施設を知れる、気づく。外から見ても楽しそう 9

跡地の活用

北口と南口の関係、つながり

お金かせげないとなりたくない

多世代交流

- 駅から「緑」が広がる南口
- 空の広さを残す
- 南口ロータリーの景色は美しいもう他の鉄道駅には残っていない(昔はどこどこでもある風景だった)
- 鹿沼公園をはじめとした自然を保全しながら、景観や安全・安心、バリアフリーなどに配慮したまちにしたい 5
- 南口は住宅地として、①緑のあふれるまちづくり ②住みやすいまちづくりを考える 1
- 現状維持(徐々にバージョンアップ)、各世代それぞれの居場所があるまち 8
- 南口:緑豊かな公共施設街、憩いの場の維持 9
- 緑は残す、整える。木のバランスもとりながら維持管理 11
- 自然や文化などの淵野辺らしさを大切に 5
- 南口は研究機関や博物館、公園、公共施設があるので文教地区としてのカラーを全面に出したまちづくりにしたい 7
- 北口:商業的賑わいの維持 8

高齢者+若者も楽しめる施設 11

ゆるやかなつながり

コミュニケーション

- 利用者や利用目的を意識した、子どもから大人まで交流できるような空間づくり 16
- 南口、北口からも利用できる、人々が集まり憩える場所 9
- 地域コミュニティの場としての公民館の利便性の向上 1
- 異年齢でも交流できるような居心地の良い空間(居場所)作り 2
- 駅に近い立地条件を活かし、老若男女問わず、様々な年代の方が利用する施設が望ましい。また、市主導より、民間・市民・団体が中心になるのが理想 3
- 他施設とのコラボや子どものつながり、居場所、空間、防犯といったところで、コミュニケーションを取りながらやっていく 8
- 公園を中心に地域の色々な団体(地区社協、南口商店会、学生、子育て支援団体等)とコラボしたイベントが開催できたり、人と人との交流の場があり、地域コミュニティの活性化が図れるような公園であってほしいです 14
- 人が更に多く集まれるような施設になれば良いと思いました 12
- 中学生が気軽に集える場所を作してほしい 8
- 公園の中にコミュニティスペースがあることで、世代間(子育て、若者、高齢者)をつなぐ 5
- 多世代交流が地域で暮らす多様な人と生み出す工夫をしてほしい 6
- 南口の魅力・ブランドは、駅の近くにある広い公園及び公共施設がそろうていること。これらを毀損することなく利便性を高め、利用する人たちの思いを実現する 6
- お祭りやイベントに使える多目的の広場や芝生公園 4
- 子ども大人も使える施設 10
- 公民館と児童館一体化 異世代交流できる場所 13

個性・特色

- 南北を考えると、公共施設のバランスと商店街活性化が必要 3
- 北口は商業地区として、魅力あるまちづくりを考える 1
- 子どもから大人まで交流できるスペース 15
- 南口・北口ともに淵野辺駅として住民にとって住みよいまちづくり 2
- 北口は商店街としてのカラーを大事に 6
- 人がつながることで文化的に発展していくまちづくり 2
- 全ての人が利用しやすいカフェがあり、どの駅も同じような感じではなく、「ならでは」な雰囲気理想 4
- 「商業」の深まり、距離、北口違い、年代
- 外国人の住民が増えているので、住みやすさもポイント 9
- 誰にでもやさしい街づくり 15
- 安全でやさしい雰囲気、のまちづくり 6
- 新しいまちになりつつも、良い文化は残していきたい 10

生活環境

- 子ども大人も使える、楽しめる施設 3
- 多くの人に来場してもらえること、近隣の大学生が経営を学ぶことができるスペースがある場所 1
- 公園内の制約を少なく、雨・風・寒さをしのげるような休憩場所カフェなど 4

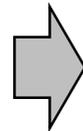
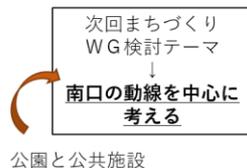
追加した付せん

事務局でピックアップしていなかった意見カード

②ワーク後の状態 (事務局で整理) ← 事務局でワーク中の意見を整理

○ゆるやかなつながり … コミュニティ (多世代交流)

- ・北口と南口の関係・つながりやすさ、人と人、地域と地域 ・次世代に残す
- ・広場 (避難所機能)
- ・商業はどこまで? (北口と南口に求められるもの)
- ・高齢者、線路を跨ぐのが大変 (一定程度の店・規模)
- ・財政負担
- ・まちのにぎわい、人の動き
- ・まちづくりの視点から見た
コミュニケーション、公共施設、公園について



検討に当たってのキーワード

○ゆるやかな繋がり

- ※多世代交流、コミュニケーションからの変換
- ※北口と南口、人と人、地域と地域
…それぞれのゆるやかな繋がり・関係性

【下記はワーク中の意見】

●まちづくり

- ・「賑わいのまち」か「落ち着いたまち」か
- ・賑わいを持つまちづくり (賑わいは南口も必要)
- ・寂れさせないまちづくりがあって、賑わいに繋がる
- ・北と南の単なる差別化ではなく「交流」でつないでいく
- ・まちづくりのカたちの中で浸透していること (公共施設に人が集まりやすい)
- ・緑を残すこと、駅前を守ること
- ・まちづくりは、施設が出来たら終わりではなく、その先も考えていく
- ・まちづくりでの景観は重要

●開発・建築のルール

- ・建物の配置や敷地の取り方によって変わる
- ・道路整備や歩道設置等の義務あり

●商業

- ・「商業」をどこまで考えるか (北口と南口に求められるもの)
- ・南口まちづくり協定 (1階は店舗)
- ・買物困難者 (高齢者等) は線路を跨ぐのが大変
- ・一定程度の規模の店舗は必要
- ・(地域の) 購買意欲に見合ったもの

●財政負担 (財源確保)

- ・商業の制限は財政負担に影響する
- ・財源が生み出せないと施設規模の縮小も有り得る
- ・施設で人流を生み出し、いかに稼ぐか (民間の視点)

●ハード面での意見

- ・跡施設 (建物) の取扱い、公園外周歩道の必要性、ロータリー等の再整備

●跡地

- ・次世代のための土地 (自転車置場・公民館敷地) を残す
- ・一度売却しまうと戻ってこない
- ・売却よりも定借が好ましい
- ・当面はトライアルで活用 (例: 何も建てない使い方) (北口と南口が繋がりやすい関係になれるように)
- ・広場を求める声あり (イベントや災害時での活用)

●コミュニケーション

- ・コミュニケーションの場の持ち方、どうあるべきか
- ・コミュニケーションから、公園や施設にどのようなものを作るか

●交通・自転車・自動車

- ・自転車駐車場の場所、朝夕の自転車渋滞
- ・自転車駐輪場の位置を考える
- ・駅前には自転車がが多く、信号無視、違法な道路横断が多い
- ・交通規制 (一方通行等) によるコントロール
- ・施設再整備後の影響による新たな問題発生 (駐車場不足、違法駐車)

●その他

- ・何を大切にしていくか、何を残していくかを優先順位付け
- ・人の活動、人の動き (流れ) を意識した議論が必要

① 「ワーク1」で出した意見を事務局で整理

小グループ1

●道路、公園、景観

- ・交通を改善（一方通行の指定）することで動線（流れ）を良くする
- ・車がそれなりに通る道、歩行者が歩きやすい道、景色を見ながら楽しんでいける道、緑がある道に分けられる
- ・駅に近いので施設利用者の割合は歩行者が多いのでは。動線は歩行者を優先に考える必要あり
- ・一体的な土地利用に当たって、既存道路（図書館と公園の間）がネック（他自治体では道路を無くしているケースあり）
- ・駅南口から公園までの突き当りに出入口が必要（公園内にスムーズに入れるように）
- ・公園に新たな出入口を設置すると、場所によっては既存管理棟に当たる可能性あり
- ・ジョギング、健康づくりのための公園の周回道路が必要（一方通行の工夫も要検討）
- ・駅南口から施設が確認できる状態をつくりたい（公園が見えやすい、見通しが良い動線が大切）
- ・駅南口から歩いてくる道は、曲がらせることで周りを魅せる道

●商業

- ・まちの購買力は高くなく、駅前通りは車は多いが店舗利用は歩行者がメイン

●自転車駐車場

- ・駅の一等地にあるため、別の利用価値（商業）も考えられる
- 駅南口ロータリー
 - ・駅南口に降りた施設利用者がロータリーがあるため遠回り。直線の動線を考えられないか
 - ・老朽化した自転車駐車場の場所にロータリーを移設し、駅から直線でアクセス可能な道の整備も一考（車、自転車、歩行者が交錯しないよう安全性の面からも）

●自動車駐車場

- ・設置場所や入口・出口の場所によっては、地区内の道路が渋滞し、円滑な通行を妨げる恐れあり
- ・自動車と歩行者が交錯しない動線の検討が必要（施設の出入口から遠い場所に設置するなど）
- ・駅に近いが車で来る方もおり、一定の駐車場は必要

●災害

- ・施設の老朽化対策は、次世代に引き継ぐ災害に強いまちをつくるために必要。市民サービスの継続は大きな責任

小グループ2

●道路、公園、自動車駐車場

- ・国道16号から自転車駐車場へ向かう道は自転車が多い
- ・淵野辺駅南口から鹿沼公園までの道は路上駐車が多い（一方通行にすれば、スムーズになるのではないかと）
- ・公園の外周に自転車を通れる道ができれば、園内を勢よく通過する自転車がなくなる
- ・公園の南東側の角に歩行者が入れる入口を作れば、自動車・自転車が多い車道を通らなくてよい（⇨角に入口を作るのは危ないか）
- ・図書館、公園の駐車場が少ないから、道が混むので、駐車場を増やせばどうか（⇨有料にすることで解決できないか）

●まちづくりセンター

- ・まちづくりセンターは、駅南口周辺の住民のためだけでなく、大野北地区の全ての住民のためである
- ・公園内に設置するには、立体都市公園という手法が必要

●自転車駐車場

- ・駅前にあるから便利だが、その場所がゆえに生じる問題もある
- ・公民館跡地を駐車場にしたらどうか
- ・定期利用者は駅から離れても安全に使いたい
- ・一時利用者は駅前にある方が便利

●駅北口

- ・車で南口にアクセスしにくい
- ・人口は増えている

●駅南口

- ・駅南口にデッキを作れば、北口から公園・新たな施設へのアクセスも良くなる

●その他

- ・それぞれの立場に立った意見があり、議論を通じて、どのような課題があるか、おおよそ共有できたのではないかと

まちづくりWG内での共有

<小グループ1の発表>

- ✓ 複合施設が駅から確認して行ける位置にあると良い
- ✓ 公園の出入口の場所の変更や増設の検討
- ✓ ロータリー、自転車駐車場の位置の検討
- ✓ 大きな商業施設より小さな店舗、楽しみながらお金を落としてくれるまちがいい
- ✓ 自転車駐車場は駅利用者にとって利便性の高い位置にあるが、ロータリーの位置検討となると、自転車駐車場の位置も検討しなければならない
- ✓ 公園の外周にジョギングロードができればいい

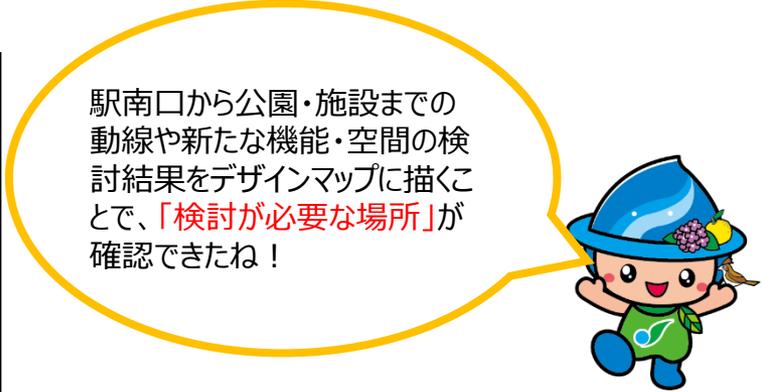
<小グループ2の発表>

- ✓ 国道16号方面から自転車駐車場へ向かう2本の道は、自動車・自転車・歩行者が多い
- ✓ 公園の中に入れば安全
- ✓ 公園の外周の歩道は、新しくマンションができたところしかない
- ✓ 駅北側にも大野北地区の住民が多いため、北口からアクセスしやすいまち
- ✓ ATMがあるところに路上駐車がが多い
- ✓ 公園の外周に自転車を通るところがあれば、公園内の安全と周辺道路の通りやすさ両方が改善できる

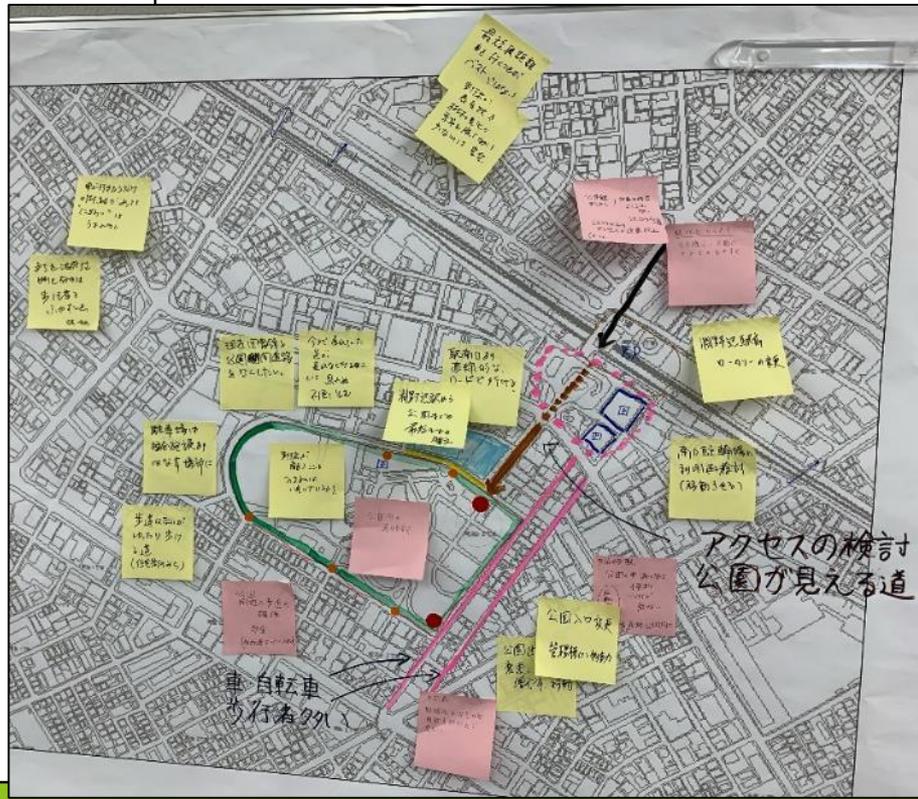
② 「ワーク2」で出した意見を事務局で整理

ワーク2 <全体>

- 駅南口から公園までの道
 - ・ 直線にした方がアクセスは便利
 - ・ 公園の木が見えればいい
 - ・ デッキを造る
 - ・ デザインが大事
 - ・ 一方通行にすると車を運転する人は困らないか
- 公園の周囲
 - ・ 周囲に歩道と自転車が通れる道、ジョギングコースがあればいい
 - ・ 出入口の検討
 - ・ 道が広がって車の通りが多くなると困る
 - ・ 自転車が通れる外周を造り、公園内にスピードがある自転車が通らないようにしたい
- 自転車駐車場
 - ・ 駅から離れると、路上駐輪が増える
 - ・ 他の駅は遠いところにある
 - ・ 別の場所に移して、現在の場所を別のものに使用する
 - ・ 老朽化している
 - ・ 現地建替は財政的に負担も大きい
- 国道16号から自転車駐車場までの2本道
 - ・ 車も自転車も歩行者も多い
 - ・ 歩行者は車・自転車に注意しながら通らないといけない
 - ・ 朝に自転車が、夕方も多い
 - ・ 自転車駐車場が現在の位置にあるため課題が生じている、移転すれば解決するか
- その他
 - ・ 北口からのアクセスの工夫
 - ・ 課題解決のためにも跡地活用のアイデア



淵野辺駅南口周辺 ~デザインマップ~



③ ワーク後の状態 (手書きのデザインマップ) ←事務局で以下のように整理



ワーク 1

デザインマップの

【60分】

「検討が必要な場所」について、意見を出し合おう！」

1. テーブル上に配置された「デザインマップ」（A0サイズ）に描かれた「検討が必要な場所」を中心に、「どうしていききたいか」「どうやって取り組むか」などについて、小グループ内でディスカッションします。

※小グループは三人又は四人一組で編成し、テーブルを分けてディスカッションします。

※事前送付した「グループ検討ワークシート」（A4サイズ両面刷り）も活用し、実現の可能性も考えながら進めてください。



2. 共通テーマを中心に、「どうしていききたいか」「どうやって取り組むか」などについて、ディスカッションを経て、各自で整理した意見を付せん（以下の専用の付せんを用意）に書き出して、小グループごとにホワイトボード（以下の模造紙を用意）に貼り付ける。

小グループごとのホワイトボード

【ワーク1-2】の流れ（ポイント）

①各自で付せんに書き出す

・付せんの内容（イメージ）は、以下のとおり。

●どうしていききたいか（理想、方向性）

○○○○…

●どうやって取り組むか（方法、手段）

△△△…

●実現のためのポイント

□□…

・考えたことを具体的に簡単な言葉で書く。
（黒サインペンを使う）

②ホワイトボードに貼り付け

・付せん同士で「同じ、似た、近い」内容がある場合は、グルーピングを行い、キーワード、タイトル（○○○、△△△）を付けてみる。

デザインマップの「検討が必要な場所」

駅南口ロータリー付近と自転車駐車場	駅南口から公園までの見通し・アクセス	駅南口への2つのアクセス道路（渋滞時の歩行者と自転車の混在）	公園内の通路等の必要性	移動のしやすさを考慮した公園内の新たな出入口の検討	駅南口から見える公園内の工夫（景観形成・新たな出入口の必要性）
その他					

【小グループ】

共通テーマなどに対して、**実現の可能性も考えながら**、付せんに書いてみよう！

< 共通テーマに対する付せんの記載例 > ※一つの共通テーマの中に、検討すべきことがいくつか考えられる場合は、もう1枚付せんを追加してもOK。



駅南口ロータリー付近と 自転車駐車場

● どうしていきたいか（理想、方向性）

今の自転車の規格に合う駐輪場になって欲しい。老朽化しており、安全に使いたい。

● どうやって取り組むか（方法、手段）

市と民間が協力して建替え整備する。

● 実現のためのポイント

現地建替か、移転整備かは、コスト比較などしながら要検討。



駅南口から公園までの見通しや アクセスのしやすさ

● どうしていきたいか（理想、方向性）

公園に行きたくなる道にしたい。

● どうやって取り組むか（方法、手段）

商店街や街の街灯などにフラッグを付けて、新たな施設と公園をPR。

● 実現のためのポイント

少ない予算で実現可能。自分達が協力できる。



駅南口への2つのアクセス道路 （渋滞時の歩行者と自転車の混在）

● どうしていきたいか（理想、方向性）

自転車も歩行者も安全に通れる道にしたい。

● どうやって取り組むか（方法、手段）

時間帯で一方通行の道にできないか。

● 実現のためのポイント

警察との協議が必要。

公園内の通路等の必要性

● どうしていきたいか（理想、方向性）

一般の歩行者も安全に通行できる、ジョギングやウォーキングのコースが欲しい。

● どうやって取り組むか（方法、手段）

公園内の敷地を一部利用して、外周に歩行者が通れる通路を確保する。

● 実現のためのポイント

緑地や樹木の減少が生ずることの兼ね合い。整備費の掛からない工夫が必要。



移動のしやすさを考慮した 公園内の新たな出入口の検討

● どうしていきたいか（理想、方向性）

歩行者の安全のため、国道16号⇄駅の往来をスムーズにしたい。

● どうやって取り組むか（方法、手段）

歩行者のための出入口を設け、駅まで最短で移動できる動線を作る。

● 実現のためのポイント

公園内の施設の配置状況によっては、出入口自体の検討が必要。



駅南口から見える公園内の工夫 （景観形成と新たな出入口の必要性）

● どうしていきたいか（理想、方向性）

道路植栽帯の緑と公園内の緑を維持＋図書館敷地にも緑を増やして、全体で景観UP。

● どうやって取り組むか（方法、手段）

駅から初めて来た人が、公共施設がどこにあるか見えないので、サイン表示。

● 実現のためのポイント

駅から公共施設に行くまでの通りの見（魅）せ方を全体で考える必要あり。

3. 付せんを貼り付けたホワイトボードやデザインマップを見ながら、小グループ内で補足したいことがあれば、各自意見発表し、意見の共有を図ります。

小グループごとのホワイトボード

デザインマップの「検討が必要な場所」				【小グループ】	
駅南口ロータリー付近 と自転車駐車場 	駅南口から公園までの 見通し・アクセス 	駅南口への2つのアク セス道路（洗滞時の歩行 者と自転車の混在） 	公園内の通路等の必要 性 	移動のしやすさを考慮 した公園内の新たな出 入りの検討 	駅南口から見える公園 内の工夫（景観形成・新 たな出入口の必要性）
その他					

小グループごとのテーブル

4. 最後にまちづくりWG全体で意見の共有を図るため、小グループごとに、ホワイトボードの付せんやデザインマップを指し示しながら発表します。

ワーク2 「デザインマップのブラッシュアップをしてみよう！」

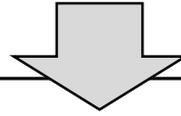
1. ワーク1を踏まえ、まちづくりWG全体でテーブル上に配置された「デザインマップ」に、その他の「検討が必要な場所」などの追加や、コンセプトにつながるようなキーワードがある場合は、それぞれマップに反映します。

【ワーク2-1】の流れ（ポイント）

- ①追加することがある場合は、まちづくりWG全体で、ある程度共通認識の下で内容をサインペンなどで書き込む。
- ②①の後、デザインマップを眺め、コンセプトにつながるようなキーワードを、各自付せんで書き出し、マップの余白部分に貼り付ける。（全員でマップにタイトルを付けてもOK）
 - ・第17回振り返り（本資料P3～P4）、第18回振り返り（本資料P5～P7）も参考に。



小グループごとのテーブル



最後にワーク1、ワーク2のまとめとして、事務局から本日の検討結果の確認（発表）を行います。

～まちづくりWGの終了～

【計100分】



本日の市民検討会全体会へ

【全体会の中で】

最後にまちづくりWGの結果を発表していただきます。



～今後のまちづくりWGの検討について～

これまでの議論を大切にして、実現の可能性も踏まえながら、まちづくりのコンセプトなどを含めたまちづくりWGとしてのまとめを「カタチ」にしていきたいと考えています。